**高度処理型浄化槽設置費補助金実績報告における**

**工事写真チェックシート**

|  |  |
| --- | --- |
| 設置者氏名 |  |
| 設置場所 | 諫早市　　　　　　町 |
| 施工業者名 |  | 浄化槽設備士 |  |
| 完成年月日 | 令和　　　年　　　月　　　日 |

**１．浄化槽設置工事**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 概要・注意事項等 | チェック欄 |
| ①着工前 | ・浄化槽設備士が正面を向いて、標識を掲げ、背景に工事を行う場所（設置予定地）の周辺状況（地面、家屋等）とともに写っていること。・標識における登録年月日（届出年月日）は最新の更新日　（５年更新）を記入する。 |  |
| ②掘削状況 | ・掘削中又は掘削完了後 |  |
| ③栗石（砕石）地業 | ・栗石（砕石）の深さ（100mm以上）がスケールで確認できること。 |  |
| ④基礎鉄筋配筋状況 | ・配筋のピッチがスケールで確認できること。D10＠200が　望ましい。 |  |
| ⑤基礎コンクリート出来高状況 | ・コンクリート厚（100mm以上）がスケールで確認できること。 |  |
| ⑥浄化槽全景 | ・機種名が確認できること。 |  |
| ⑦浄化槽据付状況 | ・ホース等で水張りを行いながら、水平器で水平を確認していることがわかること。水平器を置く際には浄化槽の上に乗らないように注意。 |  |
| ⑧埋戻し、水締め状況 | ・埋戻しを行いながら、ホース等で水締めを行っていることが確認できること。 |  |
| ⑨スラブ鉄筋配筋状況 | ・配筋のピッチがスケールで確認できること。D10＠200が　望ましい。 |  |
| ⑩スラブコンクリート出来高状況 | ・コンクリート厚（100mm以上）がスケールで確認できること。 |  |
| ⑪嵩上げ状況 | ・バルブの上端からマンホール蓋までの距離（300mm以内）がスケールで確認できること。 |  |
| ⑫完成 | ・着工前と同様に、浄化槽設備士が正面を向いて、標識を掲げ、着工前写真と同じ向きから撮影すること。※同じ写真を３枚提出（デジタルカメラで撮影した写真を提出する場合、同じ写真を１枚のアルバム等にまとめないで、１枚ずつに分けて３枚で提出してください。） |  |
| ⑬全景 | ・住宅を遠望し、浄化槽の設置場所が確認できること。・住宅全体が写真に納められていること。 |  |

**２．単独処理浄化槽又はくみ取り便槽撤去工事**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 概要・注意事項等 | チェック欄 |
| ①撤去前 | ・単独処理浄化槽又はくみ取り便槽が埋設されている箇所（マンホール部分が入っていること。） |  |
| ②撤去作業中 | ・掘り起こし作業や、引き上げ状況等 |  |
| ③撤去した単独処理浄化槽又はくみ取り便槽 | ・撤去した単独処理浄化槽又はくみ取り便槽の全景 |  |
| ④撤去後 | ・撤去場所の埋戻し前の状況など、完全に撤去したことが　確認できること。 |  |

※当該工事が補助対象でない場合は、チェック欄に斜線を引いてください。

**３．単独処理浄化槽又はくみ取り便槽からの転換に伴う宅内配管工事**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 概要・注意事項等 | チェック欄 |
| ①着工前 | ・着工前の全景等 |  |
| ②工事中 | ・流入管・ます・放流管の埋設・接続等状況 |  |
| ③完成 | ・流入部・放流部付近・建物との接合部・工事後の全景等 |  |

※当該工事が補助対象でない場合は、チェック欄に斜線を引いてください。

**○注意事項**

|  |
| --- |
| ・写真サイズはＬ判（89mm×127mm）程度とし、工事用アルバム形式（Ａ４サイズ）で提出してください。・デジタルカメラで撮影された写真でも可としますが、画像の加工はしないでください。・標識の記載事項や浄化槽の型式ラベル等の文字は、判別ができるようにしてください。・写真に不足や不備（ピンボケも含む）がある場合、補助対象とならない場合があります。　各工程で複数撮影しておくことをお勧めします。・チェック欄と写真を対比し、確実にすべての項目（写真）にチェックを入れてください。 |

（このシートを両面印刷し、工事写真の表紙として提出してください。）